

中学校技術・家庭（家庭分野）

指導のポイント

生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を自分ごととしてとらえ、解決に向けた一連の学習活動を進めることで、課題を解決する力や主体的に取り組む姿勢をめざしましょう。

評価のポイント

「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化し、それぞれの評価規準に基づいて、どのような生徒の姿であれば「おおむね満足できる」状況と評価できるのか想定しておくことが大切です。

1 家庭分野における内容のまとまりごとの評価規準

家庭分野においては、学習指導要領に示す「第2 各分野の目標及び内容 2 内容」の項目を「内容のまとまり」としており、評価規準を作成する際の単位となります。内容のまとまりごとの評価規準は以下の3観点で設定します。

知識・技能

基本的に、当該指導項目で育成を目指す資質・能力に該当する[知識及び技能]について、その文末を「～について理解している。」「～について理解していると、適切にできる。」として、評価規準を作成します。

※「A 家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている。」として、評価規準を作成します。

思考・判断・表現

基本的に、当該指導項目で育成を目指す資質・能力に該当する[思考力・判断力・表現力]の指導事項について、その文末を分野の評価の観点の趣旨に基づき、「～について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている」として、評価規準を作成します。

POINT

〈思考・判断・表現〉について
教科の目標(2)に示されている学習過程に沿って、「問題を解決する力」が身に付いているかを評価することに留意しましょう。



主体的に学習に取り組む態度

基本的に、当該指導項目で扱う指導事項A及びBと分野の目標、分野別の評価の観点の趣旨を踏まえて作成します。その際、対象とする指導内容は指導項目の名称を用いて示すこととします。具体的には下記の三つの内容を全て含め、題材の目標や学習内容に応じて評価規準を設定します。

- ①粘り強さ(知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面)
- ②自らの学習を調整(知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりする中で自らの学習を調整しようとする側面)
- ③実践しようとする態度

文末を、「～について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり(①)、振り返って改善したり(②)して、生活を工夫し創造し、実践しようとしている(③)」として、評価規準を作成します。

評価規準の例(内容 C 消費生活・環境(2)消費者の権利と責任)

よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ①粘り強さ
②自らの学習を調整 ③実践しようとする態度

2 学習評価の進め方の手順

題材の目標を作成する

STEP1 題材の目標作成

- 学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成します。
- 生徒の実態、前題材までの学習状況等を踏まえて作成します。

題材の評価規準を作成する

STEP2 題材の評価規準の作成

- 「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえて作成します。

「指導と評価の計画」を作成する

STEP3 「指導と評価の計画」作成

- 「おおむね満足できる」状況(B)の評価と「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えます。

授業を行う

STEP4 観点ごとの評価

- 評価資料やそれに基づく評価結果から、観点ごとの目標に準拠した評価を行います。
- 評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげます。

観点ごとに総括する

3 題材における指導と評価の例

事例 第2学年 題材名 健康・快適で持続可能な衣生活

□題材の目標

STEP1 題材の目標作成

- (1) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

□題材の評価規準

STEP2 題材の評価規準の作成

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

□指導と評価の計画

STEP3 「指導と評価の計画」作成

時	ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることについて問題を見だし、課題を設定することができる。	題材全体の課題を設定している	題材全体を貫く課題 ①・学習カード	①・ポートフォリオ ・学習カード ・行動観察
2	○衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解するとともに、衣服の選択について考え、工夫することができる。	①・学習カード ※ペーパーテスト ②・学習カード	(課題1) ①・学習カード	課題1～3については、それぞれ問題を見だして課題を設定している
3				
4	○衣服の材料や汚れに応じた洗濯について理解し、適切にできるとともに、日常着の洗濯の仕方について考え、工夫することができる。	③・行動観察 ・相互評価	(課題2) ①・学習カード ②・学習カード ※ペーパーテスト ③・学習カード ④・学習カード	②・ポートフォリオ ・学習カード ・行動観察
5				
6	○衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解し、適切にできる。	④・練習布 ・確認テスト		③・ポートフォリオ
7				
8	○衣服の計画的な活用の必要性について理解することができる。	⑤・学習カード ⑥・製作計画 ・実践記録表 ・再利用作品	(課題3) ①・製作計画 ・実践記録表 ②・製作計画 ・実践記録表 ③・製作計画 ・実践記録表 ・再利用作品	①・ポートフォリオ
9				
10	○自分の生活を豊かにするための衣服等の再利用について問題を見だし、課題を設定することができる。	⑦・行動観察		②・ポートフォリオ ・製作計画 ・実践記録表
11				
12	○衣服等を再利用し、自分の生活を豊かにする物の製作計画について考え、工夫するとともに、製作することができる。			
13				
14	○衣服等を再利用した製作について振り返り評価したり、改善したりすることができる。		題材全体を貫く課題 ④・学習カード	③・ポートフォリオ

まつり縫いやスナップ付けなどは2回行い、6時間目を「指導に生かす評価」7時間目を「記録に残す評価」とする

これまでの学びを振り返り、よりよい衣生活の実現に向けた記述から評価を判断する

□実際の学習評価例

STEP4 観点ごとの評価

4・5時間目の衣服の手入れ(洗濯)におけるペーパーテストの一部【思考・判断・表現②】

(問1) 次のような場合、あなたはどのような工夫をして洗濯を行いますか。
洗濯かごの中に、母の花柄のエプロン、父の紺のTシャツ、姉の羊毛のセーター、野球で汚れた弟の靴下、自分の綿のワイシャツ、バスタオルが入っています。あなたはどのような工夫をして洗濯をしますか。理由も答えなさい。

「おおむね満足できる」状況(B)と判断する例

工夫点1 ■ 全部一緒に洗うのではなく、洗濯物を分けて洗剤や洗い方を区別して洗う。一緒に洗う素材によっては縮んだり、しわになったりするものがあるかもしれない。
工夫点2 ■ 弟の靴下は、汚れがひどく、洗濯機では汚れが落ちにくいので、手洗いする。

「十分満足できる」状況(A)と判断する例

工夫点1 ■ 全部一緒に洗うのではなく、素材によっては傷んだりするので、洗濯物を分けて洗剤や洗い方を変えて洗う。また、綿のワイシャツはしわにならないように、ネットに入れ脱水を短めにするか手洗いする。
工夫点2 ■ 弟の靴下は、汚れがひどく、他の洗濯物が汚れるから先に手洗いする。綿シャツの首回りの汚れは落ちにくいので、先に直接洗剤等をつけてもみ洗いしておく。